

十勝高等教育まちづくり会議
帯広畜産大学整備拡充促進期成会

今後の取り組みの方向性、組織のあり方の取りまとめ

(アンケート結果を踏まえた整理)

アンケートについて

1. アンケートの概要・結果

① **趣 旨**： 今後の取り組みの方向性と、その推進のための組織のあり方について、十勝高等教育まちづくり会議と帯広畜産大学整備拡充促進期成会のメンバーを対象にアンケートを実施しました。

② **調査期間**： 平成 26 年 9 月 22 日～11 月 7 日

③ **調査対象**： 十勝高等教育まちづくり会議及び帯広畜産大学整備拡充促進期成会のメンバー（※両方の組織に参加するメンバーには、十勝高等教育まちづくり会議より照会）

④ 調査・回答状況

・ 発送 45 件 ・ 回答 33 件 （ 74%回答 ）

⑤ アンケート結果

・ 回答いただいたものから、提案・意見となるものの要旨を、本資料中に、主な意見として整理しました。

2. アンケートの設問

以下の設問・課題に対し、それぞれ意見を頂く形式でアンケートを実施しました。

◎設問1. 今後の取り組みの考え方・進め方について

◎設問2. 今後の組織体制について

～ 帯広畜産大学整備拡充促進期成会との統合も含めて

課題1. 組織目的

課題2. 組織の役割

課題3. 組織の名称

課題4. 組織体制

課題5. 次年度組織のメンバー構成

～事務局提案に対する意見

◎設問3. その他（今後の取り組みの考え方・進め方、組織のあり方全般について）

人づくり・産業振興・まちづくりが連動した取り組みの考え方・進め方について ～ 地域発展に必要な高等教育機関の整備・充実 ～

[知の拠点形成等に係る取り組みの進め方、考え方]

◎ 平成 26 年 5 月 29 日十勝高等教育まちづくり会議総会での整理

◇**目指すもの**：食、農、環境、健康・医を地域の核・軸とし、地域特性、優位性を活かし、地域が必要とする人づくりと産業の振興を推進するオランダフードバレーの十勝型でナンバーワン・オンリーワンを目指す。

◇**方針**：畜大を拠点に、多様な連携・交流のもと、教育と産業、まちづくりが連動した取り組み（「教育」と「産学官金連携」との両輪）を通じ、地域産業を支える人や企業の育成・集積、雇用創出などを図るための十勝型知の拠点づくり（ハード・ソフト両面からの人・企業育成、ものづくり拠点）を進める。

総会を踏まえて

今年度の検討・整理事項

- ① 上記整理を踏まえた取り組みを進めるにあたり、
 - ◇ ・どのような体制・連携によって、誰が、何をどのように取り組むのかを整理するとともに、
・具体の目標を設定・共有し、その推進に必要な組織づくりの検討を進める。
- ② 全ての活動の基本は人であり、そこに関わる人をどう育てていくかが重要なテーマとなる。
 - ◇ ・地域の将来を見据えた中で、より具体性のある地域の目標・目的とするため、概ね20年後の目指すべき地域の姿のイメージを描き、
・その実現に必要な人材をどのように育成すべきかを整理することとするもの。

時代背景

～ 20年後を見据えて

アンケートでは、共通認識に立つ意見のみ

◇人口減少、地方創生、国内市場の縮小、貿易自由化 など ～この対策なくして地域・圏域の発展は厳しい

地域発展のために

◆ 強い圏域づくり、他地域との差別化、グローバル展開、人口維持・増への対応が不可欠

20年後を見据え、目指すもの

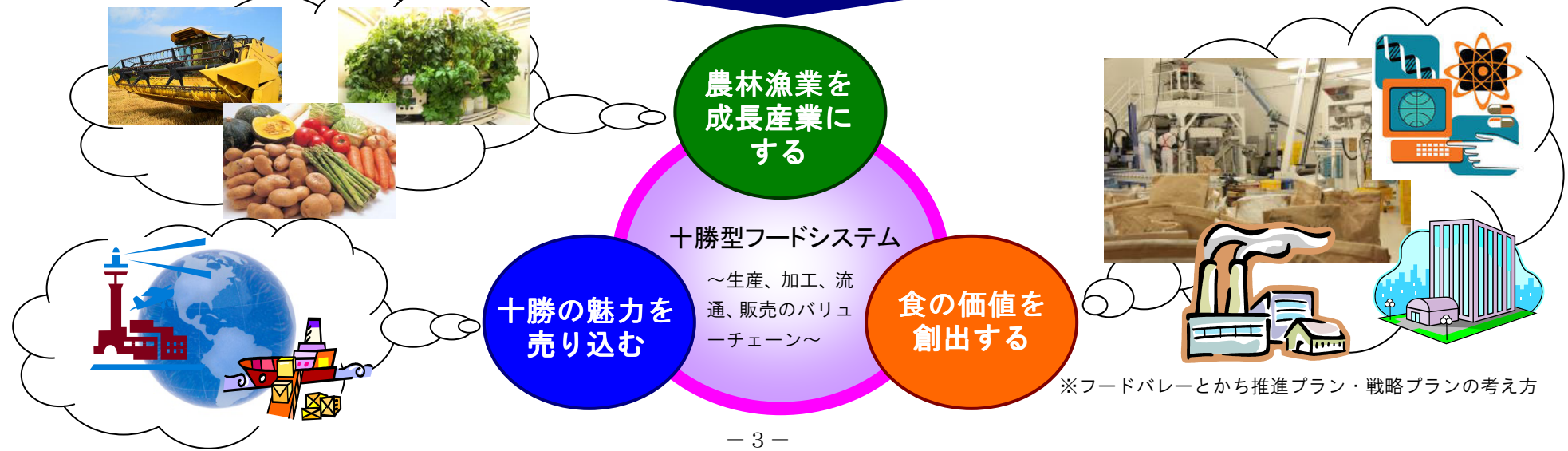
- 強い農業の実現、食・農・周辺産業の振興～ 今後も十勝農業がベースになることは変わらない。
- 人口減少(2040年に35⇒26万人、25%減)に打ち勝つ 仕事づくり・雇用創出、魅力創出
- 高齢化への対応(2040年の高齢化率 65歳以上約40%、75歳以上約25%)
- 国際競争力を高める グローバル展開～海外への販路拡大 ⇔ 国内市場の縮小への対応

【十勝の優位性を活かす、伸ばす】

- ◇ 恵まれた環境力、資源力
- ◇ 安全安心力 ～ ハサップ、ギャップ、安全安心イメージ など
- ◇ 生産力 ～ 大規模農業、ICT など
- ◇ 大きな伸びしろ ～ 付加価値率の向上・農業産出額、食品加工出荷額など

フードバレーとかちの
方向性に一致

取り組みの方向性



人づくり

の方向性

～ 地域発展に必要な高等教育機関の整備・充実



フードバレーとかがち

地域の取り組みの方向性である

十勝型フードシステム※を支える人づくり※ 生産、加工、流通、販売のバリューチェーン

- ◆考え方：フードバレーとかがち推進のための人づくりを軸に、地域での共通目標・方向性を見定めつつ、地域の特性・優位性を活かし、グローバルな視点を持ちながら、オンリーワン・ナンバーワン、十勝ならではの魅力づくりに向けて戦略的に取り組む
- ◆重点テーマ：食・農(安全安心、農業経営、農業ビジネス、起業・創業等)、
環境・エネルギー(バイオマス等)、健康(元気食、機能性等)

※その他、地域課題への対応についても検討する

◆ 人づくりを通じ、地域活力の創出、地域の暮らしの向上につなげる

人づくり

- ◎ 十勝型フードシステムを支える人づくり
 - ・農林漁業を成長産業にする
 - ・食の価値を創出する
 - ・十勝の魅力を売り込む
- ◎ 地域課題への対応

成果・波及

- ◎ 人や企業の集積、雇用創出
- ◎ 人口減少への歯止め・人口増加
- ◎ 様々なアクション・交流
- ◎ 時代変化・グローバルへの対応

様々な分野へプラス波及

- ◎ 地域経済の活性化
- ◎ 地域産業の振興
- ◎ 地域の魅力強化

目的・目標

- ◎ 活力あるとかがちの実現
 - ・地域の暮らしの向上
 - ・地域福祉等の充実
 - ・地域の持続的発展

||
地方創生へ

＜アンケートの主な意見＞

＜提案等＞・・・・・・・・【考え方：以下共通～具体の取り組み検討・推進にあたり参考とする】

- ◎畜大生や地元高校生の十勝の定着を図る。この地を離れた若者が再びこの地に戻って活躍する仕掛けが必要
Uターン、Iターン、就農率など
- ◎若者の定着には、地域の資源を生かした新産業の創出、地方企業への就職支援、都市からの住み替え支援、
地方大学の再編強化などが必要
- ◎後年次の展開では医療系、福祉系、又は工業系、商業系など、別の考え方に基づく対応もあってほしい
- ◎地元の進学率向上に向けた取り組みが必要（地元十勝に残るための地域枠みたいなものの導入検討など）

＜疑問・質問事項＞

- ◎「食」に特化し、育成された人材の活躍で「食」を産業として発展させることが当面の目標、成果と思われる。
他の分野（環境・健康・医）は、順次広げていくというものなのかが不明
・・・・・・・・【考え方：制限するものではないが、重点テーマを設定しつつ、優先順位をつけながら取り組んでいく。
その中で、地域課題への対応についても検討を行うもの】
- ◎一部の高等教育を受けた専門家的人材だけなのか・・・・・・・・【考え方：専門家養成に限定するものではない】

＜十勝大学設置促進期成会における課題＞

- ◎看護師不足を補う何らかの対策への取り組みを明確にすべき・・・・・・・・【考え方：看護師不足は、十勝の課題として、
十勝定住自立圏の場で作業を行っている】

■ 十勝型フードシステムを支える人づくり（重点テーマ）

視点1. 農林漁業を成長産業にする人づくり

- 国内外の情勢に左右されない強い農業を進める人づくり ～ 地の利を活かし、強みをつくる
 - ◇ ICT などの高度先進技術、生産性の向上(収量増)、植物工場などの施設園芸
 - ◇ 土壌、気候に合った(変動に合わせた)作物選定・技術導入
 - ～ 新たな技術開発、オーガニック、品種、売れる作物、付加価値のある作物、ローコスト化
 - ◇ 国際的に通用する農業経営・農業経済（法人化、6次産業化、大規模化、飼料、農業ビジネス 等） など
- 良質で安全安心な農畜産物を生産するための人づくり ～ 絶対的な安全・高品質のイメージ確立、グローバル化への対応
 - ◇ 高品質な農畜産物（ハサップ、GAP）、国際規格の生産拠点

視点2. 食の価値を創出する人づくり

- 地元農畜産物の付加価値向上に取り組む人づくり
 - ◇ 商品開発、十勝ブランド、技術開発、起業家育成、目利き
- 地元農畜産物の地元加工に取り組む人づくり
 - ◇ 加工施設・工場誘致、事業拡大
- ◎ 加工・流通に関わる企業誘致・進出、地元企業の成長(底上げ)、輸送ルート確保

視点3. 十勝の魅力を売り込む人づくり

- 海外展開、販路拡大等に取り組む人づくり
 - ◇ 海外・国内への販路拡大、十勝に適した物流システム、国内外ネットワークの形成・活用
 - ◇ 観光等を通じた魅力発信

＜アンケートの主な意見＞

＜提案等＞・・・・・・・・【考え方：以下共通～具体の取り組み検討・推進にあたり参考とする】

◎地元産の商品開発の人づくりなどを進めるべき

◎地元産の付加価値を上げ、ブランド化を図りながら、“食”文化の創造を進めることが必要

そのためには、産業クラスターの形成、担い手の育成が重要

◎企業誘致と新規参入希望農家の受け入れ、女性の組織の考え方をもっと取り込むことが必要

◎移住受入促進、外国人労働者の受入、観光客入込数増への対応も視野に入れたらどうか

◎農業の先端技術や農業ビジネスに係る農業コンサルタントを育成したらどうか

＜外部団体等との意見交換会（11月10日開催）からの主な意見＞

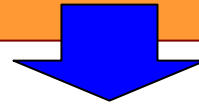
◇人材育成では、「観光分野」も重要な視点。「観光」のキーワードを入れるべき・・・・・・・・【考え方：資料に記載】

◇オランダを見習い、十勝に合った農作物など、単価の高いものを、専門家を取り入れて、先端農業や農業ビジネスなど、農業コンサルタントを育てることが重要・・・・・・・・【考え方：貴重なアイデア。具体の施策検討の際の参考にする】

人づくり

を進めるために必要なこと ～ 教育システム、体制・環境 など

- ① 高度な専門職業人・産業人、社会人などが地元で育ち、地元で活躍させるため、地域の教育機関や各種機関・団体等が総ぐるみで、義務教育の段階から、地域に必要な人材育成を意識し、連携して取り組む。グローバルな視点から、必要に応じ、国内外の各種機関等とも連携する。
- ② 地域企業・人材の底上げや新たな地域課題、新しい分野への挑戦につなげるため、学生教育をはじめ、社会人を対象にした専門教育、活動拠点の形成などに取り組む。
- ③ 地域課題の解決に向けて、既存メニューにないものは、地域内外の機関連携のもと、カリキュラム化・コース設置する。



◆ ①～③推進のための 地域連携、教育の仕組み・体制確立、拠点作り

◎ 地域の各機関・団体、教育機関、企業等の人材育成連携 ～ メニューの役割分担、連携

- ・各機関・団体等が、独自に各種研修・講座・セミナー等を開催。こうした取り組みの情報を集約するほか、例えば、国際的に通用する農業経営・ビジネス等の専門知識を有する農業人育成など、教育機関等との連携により、十勝型フードシステムを支える人材育成システムを構築する。

◎ 人材が活躍できる場や体制・環境づくり ～ 帯広畜産大学を中心にした知と技術の拠点、活動拠点の形成

- ・仕事づくり、雇用の創出 ～ 企業誘致（食品加工、研究所など）、起業・創業
- ・大学・各種機関・企業等との連携・交流、レンタルラボ、研修等を担う拠点 ～センター機能、人・企業の集積
- ・共同研究、商品開発、技術開発、ものづくり、ブランド化、プロジェクトの企画・実施
- ・各種技術指導、経営・ビジネス化に対する目利き、アドバイス ・販路拡大、海外展開

＜アンケートの主な意見＞

＜地域連携＞・・・・・・・・【考え方：以下共通～取り組み検討・推進にあたり参考とする】

- ◎地域住民主体の幅広い会員が協同で地域内再投資力を高め、人口を維持、事業を推進することが重要
- ◎“まちづくり”に発展させるためには、横の連携をはかり“人づくり事業”を推し進めるべき
- ◎地域の団体や企業をもっと巻き込んで推進すべき
- ◎各関係機関の連携・役割を具体化する必要がある
- ◎地域ぐるみを具体化する必要がある

＜人材育成システム・義務教育＞・・・・・・・・【考え方：以下共通～取り組み検討・推進にあたり参考とする】

- ◎地域が必要とする担い手育成の観点で、「地域の子どもは地域で育てること」が重要
地域連携の人材育成システムづくりを推進すべき
- ◎義務教育の段階から地域教育を充実させることが必要
- ◎義務教育に組み入れる場合には、目指す児童像、生徒像と、学校が担う教育カリキュラムを明確にする必要がある
- ◎義務教育における取り組み推進では予算が必要

＜畜大連携＞・・・・・・・・【考え方：以下共通～具体の取り組み検討・推進にあたり参考とする】

- ◎畜大と地域とのつながりをもっと密にするイベントや交流が必要
- ◎畜大の持っている技術を地元企業や教育機関に還元することが必要
- ◎帯広畜産大学との連携では、起業支援のオフィス設置や畜大の知的財産の起業への還元などの創出が望まれる

＜知の拠点＞

- ◎「知の拠点づくり」のイメージをより明確にすべき
・・・・・・・・【考え方： 具体の取り組み検討とともに、より分かりやすい整理を行っていく】
- ◎健康・医となると帯広大谷短期大学（介護、福祉、栄養など）も拠点となりうるのではないのか
・・・・・・・・【考え方： 地域連携を進める際の重要な高等教育機関の一つ】

■ 地域ニーズ、方向性に向けた **地域連携 取組支援**

＜機関別の人材育成等に関する想定される主な役割＞

区 分	機関・団体等名	想定される主な役割
教育機関	<p>〈管内〉 畜大、別科、大谷、専門学校(コア)、高校(南商、工業、農業 ほか)、農業大学校、小中学校 など</p> <p>〈管外〉 管外の他大学、海外大学</p>	<p>教育カリキュラム ～目的・課題に応じた プログラム提供、人材育成</p>
研究機関 試験機関	<p>畜大、財団、食品加工技術センター、産業振興センター、試験場 など</p>	<p>研究、技術開発、技術指導、セミナー など</p>
民間	<p>商工会議所、銀行、中小企業家同友会、中小企業総合支援センター、産業振興会議(人材部会) など</p>	<p>各種セミナー、講習会、経営塾 など</p>
プレイヤー 企業	<p>管内企業、事業者、農業者、畜大入居企業 など</p>	<p>交流、マッチング、教育プログラムの活用、チャレンジ</p>
行政	<p>総合振興局、市町村 など</p>	<p>支援、連携</p>

十勝の発展に必要な人材育成、知と技術の拠点形成イメージ

＜取り組みの考え方＞

■人口減少、地方創生の動き、グローバル化などの時代変化を踏まえ、20年先を見据えた十勝型フードシステム（ア、イ、ウ）を支える人づくりを軸に、地域課題・方向性に向けた取り組みを進める。
ア、農林漁業を成長産業にする
イ、食の価値を創出する
ウ、十勝の魅力を売り込む

＜地域の課題・方向性＞

■フードバレーとかちの推進

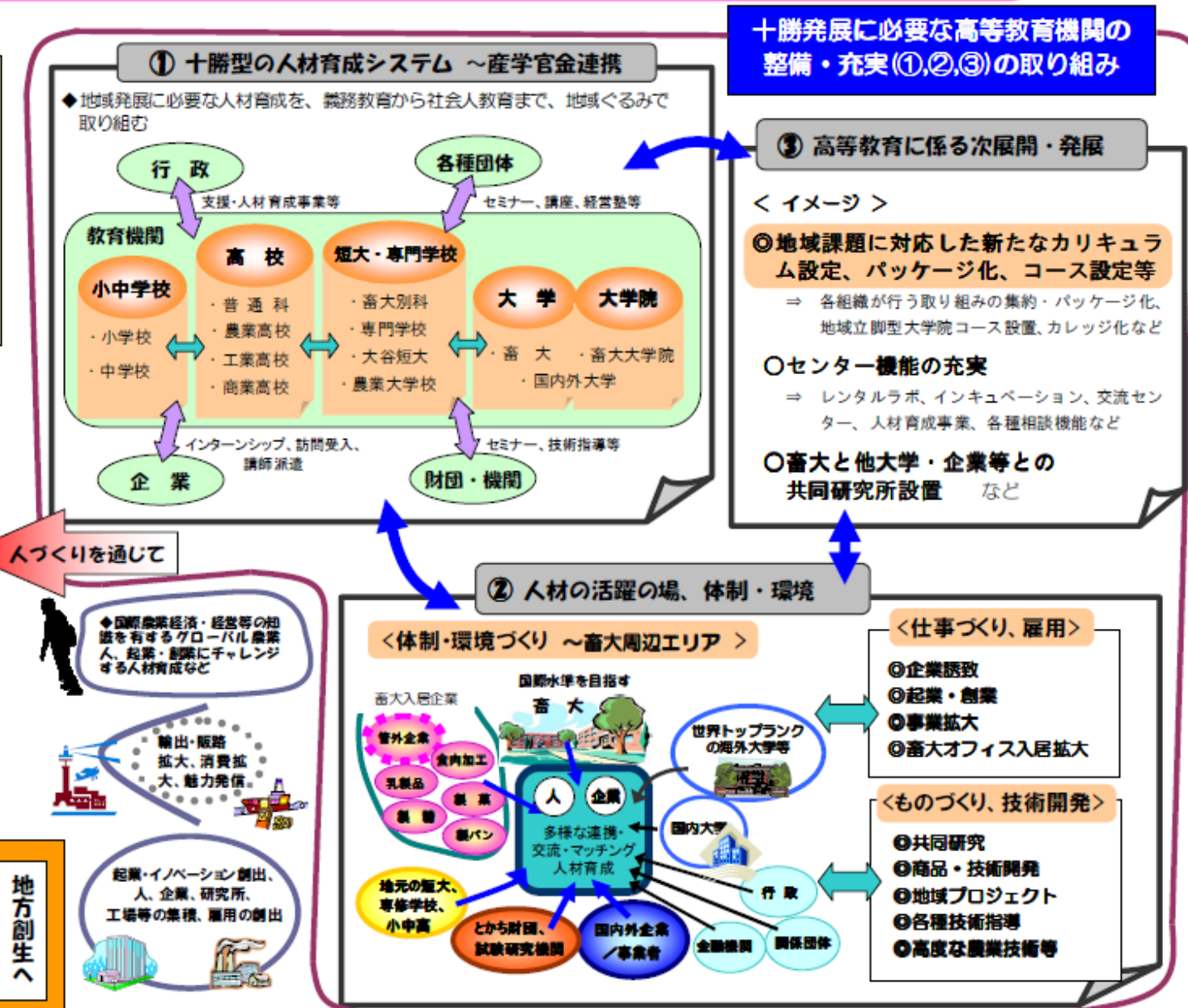
- ◎強い農業の実現、食・農・周辺産業の振興
- ◎人口減少に打ち勝つ
～仕事・雇用・魅力、地域経済を担う人材確保
- ◎高齢化への対応
- ◎国際競争力の向上・グローバル展開
～海外販路拡大、安全・安心など十勝の優位性の活用・強化

＜出口＞

■活力ある十勝の実現

- ◎ 地域経済の活性化
- ◎ 地域産業の振興
- ◎ 地域の魅力強化

地方創生へ



十勝発展に必要な高等教育機関の整備・充実①,②,③の取り組み

③ 高等教育に係る次展開・発展

- ＜イメージ＞
- ◎地域課題に対応した新たなカリキュラム設定、パッケージ化、コース設定等
⇒ 各組織が行う取り組みの集約・パッケージ化、地域立脚型大学院コース設置、カレッジ化など
 - センター機能の充実
⇒ レンタルラボ、インキュベーション、交流センター、人材育成事業、各種相談機能など
 - 畜大と他大学・企業等との共同研究所設置 など

② 人材の活躍の場、体制・環境

- ＜体制・環境づくり ~畜大周辺エリア＞
- ◎企業誘致
 - ◎起業・創業
 - ◎事業拡大
 - ◎畜大オフィス入居拡大
- ＜ものづくり、技術開発＞
- ◎共同研究
 - ◎商品・技術開発
 - ◎地域プロジェクト
 - ◎各種技術指導
 - ◎高度な農業技術等